教育行政報

はじめに

井平教育長就任挨拶

所存です。 現場での経験を生かし努力する ての経験ではありますが、 余年の教職員生活から教育行政 き締まる思いがしています。30 ますと共に責任の重さに身の引 いて教育長に選任されました。 れました積丹町教育委員会にお として任命され、その後開催さ き、9月9日に積丹町教育委員 臨時会で、議会の同意をいただ へと身を転じ、 このことは、大変光栄であり 8月28日の第4回積丹町議会 教育行政は初め 教育

施策の大綱」の4点目にありま 4次積丹町総合計画の 教育行政におきましては、 -4つの

> り 考えます。 く一翼を担って と使命があると 化のまちづく 育と薫り高い文 で温もりある教 いく大きな役割 「地域ぐるみ を実現すべ

きます。 本町の教育の執行にあたってい 人なり」という不易を合わせて ら」という基本理念と「教育は

りは人づくりか

私は、「町づく

学び続ける体制や環境を整えて あります。 いくことが生涯学習の根幹でも とが求められています。また、 校」として存在し、 動が必要であり、「地域の中の学 庭・地域が一体となった教育活 方では町民が生涯にわたって これからの学校は、学校・家 機能するこ

らないと考えます。 育を共に進めていかなければな そのための社会教育や社会体

与してまいります。 発展するような人材の育成に寄 築き上げてきたこの町をさらに 先人が、大変な労苦の中から

学校教育について

は、 生活を送っています。 事故もなく、元気に登校し学校 れぞれが始まり、 月19日から中学校は18日からそ 24日間で、2学期は小学校が8 児童・生徒における夏季休業 小学校は25日間、 児童・生徒は 中学校は

学び自ら行動することができる 識が身についたものと考えます 基礎的な学習能力や基本的な知 会も多く、その中から主体的に 社会の沢山の人々と触れ合う機 中心とした生活形態ですが地域 この夏休み期間中は、 家庭を

■生涯学習について■

N B の管理・運営について一&G海洋センタープー

短縮し、 ます。 年度比636人減) になって ていましたが、この期間の利用 までの2カ月間開放しました。 人数は延べ、 今年5月1日からの料金改正 利用者の減少を心配し 7月1日から8月3日 1, 656人(前

> り、 海洋センターの利用増を図る これは、 町内小・中学生の夏休み この期間の使用料の累計 昨年度に本町で開催 での利用者 (前年度

ため、 者は14名(前年度比34名減)に 期間中の無料送迎バスの運行に お 319名の減が大きく影響して 道大会(水泳の部) なっています。 日間で全2回運行し、 ついては、8月5日・6日の2 比1万8千円増)となっています。 については3万5千円 されたB&Gスポーツ大会北海 延べ利用

ポーツ教室について社会体育事業の各種 ス

クアキッズフェス2009 中運動会)を実施しました。 国49市町で同一日に行なったア 度比37名増)で、プールでシュ 内の小学生を対象に開催しまし ケット浮遊体験などのほか、 た。参加人数は延べ90名(前年 28日から30日までの3日間、 ノーケリング体験とライフジャ 8月7日には 「ジュニア水泳教室」を、7月 「海中探索体験 (水 全 町

昨年度に引き続き利用期間を

を受け自然保護の必要性と、 危険性を学びました。 海中の動植物について説明

康づくりと親睦交流を深めまし に本町の海洋センターで開催さ 的な活動であることから、今後 的身体能力や心身の発達の向上 段階において、 歳の方を筆頭に53名が集い、 ル連絡協議会の主催で6月14日 夏季大会」が北後志ゲートボー も実施したいと考えています。 に優れている五感を使った体験 これらは、 「第21回北後志ゲートボール 3町村8チーム、最高齢 子どもたちの発達 最も大切な基礎

部 ポーツ大会北海道大会」(水泳の 団体2種目 た。 加し ・選手及び関係者139名が また「平成21年度B&Gス 全道13海洋センターから監 が8月2日に和寒町を会場 個人4種目の12競技と の4競技が行われま

ました。 日頃の練習成果を十分に発揮し 小・中学生14名が参加し、 技で5名が上位に入賞するなど スイミングクラブに所属する 本町からも積丹町ジュニア・ 6 競

用したシュノーケリングの実践 が外海でライフジャケットを着

を開催し、

20名の小学生

芸術鑑賞事業について

の劇でしたが、 も参加しました。深刻なテーマ レッシュ学級の会員21名の方々 象に開催しました。当日はリフ 化センターで68名の中学生を対 劇場公演)を9月14日、 演劇鑑賞会」(北海道巡回 登場人物が中学 総合文 小

> ようでした。 でき、舞台に引き込まれていた 生ということで生徒たちも共感

養うものと期待しています。 会を持つことにより、 文化を理解し、大切に思う心を かな感性を育むとともに、芸術 様々な、芸術文化に触れる機 生徒の豊

議案第10号 (9会計いずれも認定)

うものです。

予算(第5回 平成21年度積丹町一般会計補正

するものです。 など5,208万9千円を追加 経済危機対策臨時交付金事業 24 億 9, 716万5千円と

(原案可決)

議案第11号

と量水器取替工事の減額 業特別会計補正予算(第3回) 野塚減圧水槽修繕工事の増額 平成21年度積丹町簡易水道事 (執行

原案可決

597万3千円とするものです。 残) など90万円減額し、2億2

議案第12号

険事業特別会計補正予算(第2回) 平成21年度積丹町国民健康保

円とするものです。 追加し、2億3,975万1千 精算金)1, 後志広域連合負担金 008万4千円を 一(20年度

原案可決)

別会計決算の認定

議案第8号

サービス事業特別会計決算の認定

平成20年度積丹町介護福祉

平成20年度積丹町老人保健特

議案第3号

議案第2号

算の認定

議案第7号 計を閉鎖します。 議案第1号

平成20年度積丹町一般会計決

意見を付して報告するものです。 関する法律に基づき、監査委員の

報

告

業特別会計決算の認定

平成20年度積丹町介護保険事

平成20年度決算をもって同会

率等の報告

平成20年度財政健全化判断比

議案第5号

険事業特別会計決算の認定

地方公共団体の財政の健全化に

議案第6号

特別会計決算の認定

平成20年度積丹町下水道事業

報告第1号

審

議

された案

件

対策推進事業特別会計決算の認定 平成20年度積丹町産業交流雇用 用対策推進事業特別会計補正予 平成21年度積丹町産業交流雇 (第2回

議案第13号

医療特別会計決算の認定 平成20年度積丹町後期高齢者 を伴わない歳出予算の補正を行 予算執行科目の変更など増減

議案第4号

平成20年度積丹町国民健康保

業特別会計決算の認定

議案第9号

平成20年度積丹町簡易水道事

議案第14号

教育委員会委員の任命について

意を求めるものです。 佐委員の後任として、 9月4日死去された新井田仁 議会の同

■新井田徳彦氏 (62歳・余別町)

同 意

議案第15号

監査委員の選任について

同意を求めるものです。 議員から選任する監査委員の

同

意

■葛西

敏夫氏 (74歳・美国町

発議第1号

決議 調査特別委員会の設置に関する 積丹町地域活性化総合改革等

るものです。 光振興などに関する事項につい て調査する特別委員会を設置す 町行財政改革・議会改革・組

意見案第1号

(原案可決)

本

盛

岩

委

佐藤

道路の整備に関する意見書

(原案可決)

長

名

教会

設

会

文員 務任委

意見案第2号 後志地域の実情等に配慮した

(原案可決)

議

委

総常

道路整備に関する意見書

原案可決

会正副委員長選任される議会正副議長・常任委員

副議長、 3回定例町議会において、議長 などが選任されました。 選挙後、 常任委員会正副委員長 初めて招集された第

おりです。 新しい町議会の構成は次のと (敬称略)

村	雄一
員	Į.
山本	俊三
田村	雄一
葛西	i 敏夫
佐藤	晃

	9 (1)	妃	ବ	₹	<u> </u>)		/)				
幹	兒	副	議	長	E	村	雄	_				
長	副委	員長			委		員					
善差男	佐藤	晃		葛西 田村	敏夫 雄一	Щ	本	俊三				
規晃	海田	一時		成田 岩本	静宏 幹兒	田	村	雄一				
晃	佐藤	盛男		海田 成田	一時 静宏	葛	西	敏夫				
失	成田	静宏		田村 佐藤	雄一 盛男	佐	藤	晃				

常任委員会	一 白	海田	一時	岩本	幹兒			
議 会	佐藤 男	佐藤	盛男	海田 成田	一時 静宏			
広報編集 特別委員会	葛西 敏夫	成田	静宏	田村 佐藤	雄一 盛男			
議長・副議長任期:平成21年9月30日~平成25年9月29日 常任委員会・広報編集委員任期:平成21年9月30日~平成23年9月29日								